キャラクター名: 朧威　白（おぼろい　つくも）

プレイヤー名:

シンドローム	ブラム＝ストーカー エグザイル	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル	ウロボロス	年齢	18	性別	男
覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	33 %
出自	天涯孤独	経験	長期入院	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	3			7
感覚	3	0	0			3
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	35
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き剣	白兵	7r+5	0	-20		HP消費【Lv*2】/侵蝕3
血宝玉の劒	白兵	11r+5		+11		C:ﾌﾞﾗﾑ+過剰+鮮血+双剣/HP2消費/ﾄﾞｯｼﾞ-1/侵蝕10
血宝玉の鮮劒	白兵	13r+5		+23		C:ﾌﾞﾗﾑ+過剰+鮮血+双剣+ﾌﾞﾗﾊﾞ/HP7消費/ﾄﾞｯｼﾞ-1/侵蝕14
血宝玉の劒100↑	白兵	15r+5		+16		C:ﾌﾞﾗﾑ+過剰+鮮血+双剣/HP2消費/ﾄﾞｯｼﾞ-1/侵蝕10

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
造血剤*2	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
《愚者の黄金》デミクリスタル	P	N		
《高校の親友》真鶴　流可（GR）	P　友情	N　不安		
《恩人の代表》青山至里（PU）	P　尽力	N 劣等感		
	P　友情	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
赫き剣	5	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	武器作成/攻+【Lv*２のHP消費】+8							
ｺﾝｾ：ﾌﾞﾗﾑ＝ｽﾄｰｶｰ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	S	
効果：	c値-Lv（下限7）							
鮮血の一撃	5	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果：	判定Lv+1個　HP2消費							
渇きの主	1	4	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：	装甲無視/HP[Lv×4]回復							
ブラッドボム	1	1	ﾒｼﾞｬｰ				-	
効果：	HPＤ付与時対象[LV-1]D点失。同値HPを支払う							
伸縮腕	1	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：								
異世界の因子	★	5	ｵｰﾄ				80	
効果：								
ダヴィンチの調和	2	1d10	ｵｰﾄ				100	
効果：								
《高校の親友》伏見 煉（GR）	1		ﾒﾓﾘｰ					
効果：	友情/悔悟							
瀉血	★		常時	至近	自身	自動		
効果：	≪賢者の石≫に侵された血液を排出している							
生命治癒	★		ﾒｼﾞｬｰ	至近	単体	自動		
効果：								
効果：								
効果：								

好きなものは学校、激辛味、親友二人
苦手なものは針、小動物、細かいもの
嫌いなものはルビー

《愚者の黄金》適応者で精製者。体はほぼデミクリスタルと化している。
生まれつき病弱で病院暮らしだったが4歳で結晶を吐きUGNに配属する病院に転院。結晶の正体がデミクリスタルであり、レネゲイドウイルスに感染していることが判明。死を偽装し親元を離れチルドレン配属となる。その後心臓近くに埋め込まれていた生命維持装置の一部が《賢者の石》であり、体と融合せず漏れ出る力を血と混ぜ合わせ愚者の黄金化して排出することで体を維持してると判明。以来賢者の石が埋め込まれながら死亡やジャーム化をしてない稀有なケースとして任務と実験体その両方をこなしている。
今も徐々に肉体がクリスタルに置き換わっている。そのこと自体は気にしてないが自身の宝石を異質で醜く感じている為日常を生きる時は肌を見せたがらない。
やや頑固で日常を守る為に戦う典型的なチルドレン。戦闘時は体から噴き出た結晶を剣や腕に変形させる。自身の体含め結晶はその殆どが愚者の黄金にすらならない紛い物の為、基本的に割れる事は厭わない。
毎年花束を匿名で親に送るのが習慣。

賢者の石が埋め込まれた時期、手術内容、主治医などの情報は明らかになっていない

ダブルクロス The 3rd Edition「Judge Myself」通過
親友を失い、死に対して初めて向き合った気がした。常に隣にあって然るべきものだと思ったのにーーーー少し、怖くはなった。
後悔はしている。悩まないわけがなかった。それでも、親友の最期を見た俺がまだ諦めるわけにはいかないのだろう。
研究者を目指すという流可を支えて生きていく為、自分の体に気を使いながらエージェントになる道を選ぶ。
（自分の体質に流可を巻き込んでしまったという罪悪感と自分は今も生きているのだから生きなければならないという義務感から）